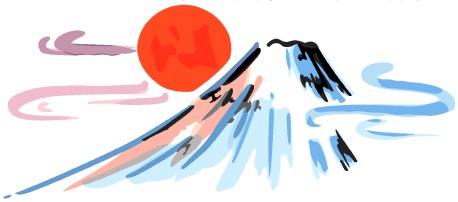
教育かわら版

こんにちは教育委員会です

ふたたび

No.１８０
２０２３（令和５）年１月２４日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦



新しい年を迎えました。たった一日の違いなのだけれど、大晦日から元日への感動は、新鮮な感覚としていつも私の中にときめきを覚えさせてくれます。“変わるぞお”という期待の時です。暦の関係もあり、１２月３０日まで勤務していた私にとってとても良い、穏やかな切り替えの二日間となりました。

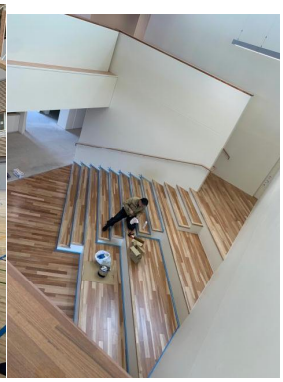
２０日金曜日、町内小学校が始業し、全ての学校・園に子どもたちが揃いました。特に今金中学校は春に新校舎への引っ越しがあるため冬季休業を短縮し、１７日火曜日が始まり。年度末休業を少し長く取る対応をしました。本格化してくる受験対応。そして待望の新校舎供用へと続いていきます。ご苦労おかけしますがよろしくお願いいたします。

比較的雪の少なかった冬季休業期間。子どもたち、教職員の皆さんにも大きな事故等もなく新年のスタートが切れたことが何よりです。

ある校長先生の文章にもありました。「締めくくりの学期でもあり、４月からの新たな環境に向けた０学期でもある」と。

爽やかに進んでいく希望の日々となりますように。





今金中学校新校舎を見てきました

１月１８日（水）午後、外崎町長・中島副町長・住吉事務局長と４人で、改築工事の進む今金中学校新校舎を見てきました。養生のなされた床面を始め、壁面の塗装など仕上げの段階に入ってきていることが素人目にも分かりました。

明るい校舎。体育館内包型という形式は今金小学校と同様ですが、格技場とランチスペースがある分、ステージの作りも今小とは異なり、完成後の利用の棲み分け、選択肢が広がると感じました。

広く、適度に囲み感のある教室。生徒が雑談したり、合唱練習をしたりしている姿が目に浮かぶ「学びの階段」。Wi-Fi 環境。空調設備の完備。４月からの供用が楽しみです。

元気で心穏やかな風土で

サッカー W 杯でも話題になった日本人の礼儀正しさ、マナー。綺麗に清掃された使用後のロッカールーム。サポーターによる会場のゴミの片付け。真摯な姿。

一部では「清掃を担当している人の仕事を奪ってはいないか」という意見も目にはしました。乏しい経験ですが、海外での街中でのイベント後のゴミのすごさは、日本ではあり得ないと感じてきました。気づいた人がきちんとすれば良い。担当者がやればいいのだという雰囲気は日本にはないと、そう育てられてきたのが日本人だと思っています。

だからこそ、この頃目にするヘイト。SNS 等での卑劣で一方的な書き込み。不正を正すのでなく、暴露を正当化する一部の雰囲気などはたまらずに嫌になります。

経済面でもかつての Japan as No.1 の時代とは違う様相を呈してきているのかもしれませんが、本当に日本人としての真面目さや慎ましさを大事にしつつ、これからの世代に元気を与える活力を取り戻していかねば。私もささやかでも自分にできる仕事をしていきたいと･･･。